

科学技術の潮流

(284)

JST 研究開発戦略センター

科学技術・イノベーター。

シヨン (STI) 政策の目的や対象が拡大する中、多様で多面的な価値を創出する STI エコシステムの構築が求められている。

エコシステムとは、多様なアクターが協働し、競争を続け、イノベーションを誘発するよう働く相互作用と循環機能を持つシステムのことを指す。産業界と学術界はその主要なアクターであり、両者の間をつなぐ「橋渡し」のあり方について、さまざまな視点からの模索が期待される。

分野ごとに展開

産学橋渡しの多様性

産学橋渡しの多様性と深化①

と分かりやすい。それが寄与する。また、態を見てやることで、例えば、創業のようなモビリティのように、な分野では、研究開発 統合的な設計・技術から生まれたシーズと 必要とする分野では、なる技術の効果の秀逸 技術の効果と体験の両さが、社会普及性の向 方が掛け合わること上に大きく寄与する。で、より大きな価値が一方で、情報サービス 生まれる場合もある。このように学術界の知を社会へ展開すべく、技術移転や知識移

隠された要素

大限に高める「有効な (II) 「デザイン主導型 営みであることを考える知的財産権の取得」が「産学橋渡し」)。これは、技術や知識の円滑な循環を図る「産学共創」の仕組みが挙げられる。これは循環の向上を目指す方向性 討していくことであ としては「デザイン」る。さらに、産学橋渡学の相互作用それ自体の活用も挙げられる しがエコシステム内 を生み出すためにも有効となる。

イノベ誘発・循環構築

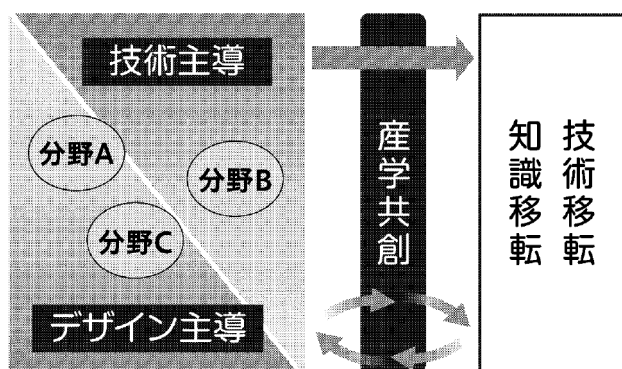
は、技術あるいは産業 ーズだけでなく、人や 転を狙う産学橋渡しに 分野ごとの違いを踏 分野ごとに、おのの コミュニティーが享受 おいては、分野ごとの まえれば、その一つと する体験価値の高さこ 特性に応じた多様な形 して技術的な効果を最



科学技術振興機構 (JST) 研究開発戦略センター (CRDS) フェロー (横断・融合グループ) 阪口 幸駿

同志社大学大学院脳科学研究科博士課程修了。同志社大学で特別任用助教、府省で事務官を経て24年より現職。分野横断的な検討が必要なテーマの調査を担当。博士 (理学)。

技術/産業分野ごとに異なる産学橋渡し



調査報告書「科学技術・イノベーションエコシステムにおける産学橋渡しの課題 - 知的財産・デザイン・共創の観点から -」(2025年3月発行)を基に筆者作成

研究開発戦略センターでは多様な橋渡しについて調査し、その課題をまとめている。産学連携に携わる人々が産業界あるいは学術界との新たなつながりを求める際には、分野ごとの橋渡しの多様性、そしておのおのの橋渡しにおけるミッシングパーツを十分に踏まえた検討がなされることを期待したい。

(金曜日掲載)